

1 財政の動向及び本市における行財政運営について

我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されておりますが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクが高まっています。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、景気を下押しするリスクとなっております。また、金融資本市場の変動等の影響に一層注意していく必要があります。

令和6年度の本市における行財政運営は、第7次総合計画の将来像である「住みつづけたいまち 子育てしたいいまち さかど」の実現を目指し、基本理念である「参加と協働によるまちづくり」、「暮らしをまもり、お互いの個性を認め合うまちづくり」、「自然環境と生活環境をまもり、長所を生かすまちづくり」を3本の柱に据え、重点施策の推進に努めてまいりました。

また、今後、扶助費の増加や、公共施設の老朽化に伴う維持や更新に係る投資的経費の増加が見込まれることなど、本市の抱える財政課題を念頭に置き、経費全般の事務事業の見直しを進め、健全な財政運営に努めてまいりました。

2 予算に対する収入及び支出の状況について

令和7年3月31日現在における一般会計及び各特別会計の状況は、別紙のとおりです。